

鳥越一丁目町会パトロール隊（東京都）

皆さん、こんにちは。私は台東区鳥越一丁目町会、防犯パトロール隊の葛城と申します。パトロール隊を代表しまして、私たちの活動をお話したいと思います。本日は私たちの活動地域、団体の概要、活動内容、課題、課題への取組と順を追ってお話したいと思います。



発表内容

- ▶活動地域
- ▶団体の概要
- ▶活動内容
- ▶課題
- ▶課題への取り組み

活動地域

私たちの活動地域は台東区鳥越一丁目地区です。台東区は東京都の東側にあります。台東区には、誰もが御存じの上野動物園や浅草の浅草寺がありますが、鳥越地区は台東区の南側、鳥越祭で有名な鳥越神社のお膝元です。鳥越祭は千貫神輿という、重さ約4tの都内随一の重さを誇る大きな神輿が出ます。そのほかにも各町会からたくさんの神輿が町内を回ります。火入れをした神輿が鳥越神社に宮入りをする光景は、夜祭としても幻想的です。

活動地域



鳥越一丁目地区は、東京都台東区の南に位置しています。鳥越祭で有名な鳥越神社の近く、静かな下町の住宅街に約940世帯、約1600人が暮らしています。



団体概要

それでは鳥越一丁目町会防犯パトロール隊の概要について、お話しします。我がパトロール隊は鳥越一丁目町会防犯部から平成16年に発足しました。平均年齢はちょっと高いのですが、65歳です。祭りをこよなく愛する下町人情あふれる仲間の集まりです。下町は人とのつながりが強く、自分の街は自分で守ろうという気持ちのある人が多いのです。

活動内容

次に主な活動内容について、お話ししたいと思います。一つ目は夜間の防犯パトロールです。1ヶ月に2回、仲間が集まり、町内をパトロールします。3ヶ月に一度は、蔵前警察署の生活安全課や交通課と合同で行っております。また、台東区鳥越地区は千代田区と一部隣接しており、商業地区指定となっています。一般の住宅地域と違い、四六時中、人の出入りが大変多い地区でもあります。そこで、定期的な防犯パトロールで補えない時間は、行政からの一部助成を得まして蔵前警察の御協力の下、約3年前から防犯カメラの設置を試み、見守りの一助としております。

次に通学路見守り警戒です。現在、台東区立育英小学校の児童を蔵前通りにて送迎しています。子供たちとは顔見知りとなり、皆、元気に挨拶をして登校していきます。先だって、川崎におきまして、スクールバスに乗車直前の小学生や保護者が殺傷されるという痛ましい事件が起きました。子供たちも保護者も不安な思いをしていると思いますが、私たちの姿を見せる見守り活動を行って、その不安を少しでも解消できるよう、今後も続けてまいります。

次に鳥越神社例大祭への参加です。鳥越祭は毎年6月に開催し、全国からたくさんの見物客が集まる大きなお祭り

です。鳥越一丁目町会も大きな神輿を出しますので、祭りの何ヶ月も前から何度も話し合いをして準備を行います。私たち防犯パトロール隊の部員のほぼ全員が鳥越祭の祭礼世話人会の役員。分かりやすく申しますと、お祭りの実行委員をしています。鳥越祭の期間中は多くの人たちが集まりますので、安全・安心にお祭りを楽しんでも

団体の概要

- ▶ 平成16年3月発足
- ▶ 構成員 15名
- ▶ 平均年齢 65歳
- ▶ 祭りをこよなく愛する下町人情溢れる仲間の集まり



活動内容

1 防犯パトロール

一ヶ月に二回、自主的な夜間の防犯パトロールを行っています。



2 通学路警戒

小学生の通学路警戒を行っています。



らえるよう、ここでも見守りを心がけています。

そんな我が鳥越の街で困った事案が起きました。昨今、町内にインド人居住者が急増しまして、その生活習慣等の違いから、ごみの出し方、車の逆走、騒音などで住民トラブルが発生したのです。そこで蔵前警察署と台東区役所の協力を仰ぎ、インド人代表者と町会との意見交換会を開催しました。

トラブル発生

昨今、町内にインド人居住者が増加
生活習慣の違い等から・・・

交通マナー
↓
ゴミの出し方
人声騒音 等

様々な住民トラブルが発生



3 鳥越祭への参加

給与係を担当し、担ぎ手に配る弁当や、子どもたちに配るお菓子の準備をしています。



！そこで！

昨年4月、蔵前警察署、台東区役所が間に入り
インド人コミュニティと意見交換会議を開催



この話し合いでは車やごみ問題、騒音について、町会側の意見を伝えました。すると、インド人側からは「文化や風習の理解が足りずに迷惑を掛けたことについては、インド人コミュニティで連絡を取り合っているので、ほかの者に指導することができます。私たちは皆さんと協力し合いながら、共存、共栄を図っていきたいと思っています」という意見がありました。

会議の結果

- ▶ インドの方々が、地元住民と仲良くしたいと考えていることがわかった。
- ▶ もっとコミュニケーションをとって、お互いに協力しあえば、もっと安全で安心な街になる。
- ▶ これからは、一緒に活動していこう



現在は・・・

防犯パトロールを一緒に行っています。



会議の結果、インド人の方々がとても温厚で優しいこと。そして、地元住民と良好な関係を築きたいと思っていることが分かったのです。今まで抱いていたインド人のイメージががらりと変わりました。鳥越の街を住みよい街にするために、一緒に活動していこうという意見も一致したのです。

現在では防犯パトロールを一緒に行っています。そして、その際には、意見交換の場を鳥越町会会館にて設けています。インド人の多くは日本語が話せませんので、町会からの意見や要望があれば、日本語が話せる代表者に意見、要望を伝え、インド人コミュニティに共有してもらっています。また、年に一度の鳥越祭を子供たちはとても楽しみにしてくれているそうです。今年もたくさんの子供たちが太鼓や山車、神輿と一緒に担ぎ、とても楽しんでくれました。また、町会の役員として、子供たちへお菓子を配布する手伝いもしてもらいました。

パトロールの後には、意見交換も行います。

インド人コミュニティと共有したい情報は、インド人の代表者から伝えてもらいます。



鳥越祭には、たくさんの子どもたちが参加しました！

はじめて神輿を担いだ子どもたちは大興奮！！日本の祭を、とても楽しんでくれました☆



町会の仲間として祭に参加しました！



課題

もちろん、この取組はまだ始まったばかりです。今後の課題としては、一つ目は日本語が話せないインド人とのコミュニケーションの問題です。インド人の多くは、英語は話せますが日本語は話せません。また、街には英語が話せる人も多くはいません。二つ目は、住民の中にはまだ外国人への偏見や、苦手意識がある方が多いということです。外国人というだけで、一歩引いてしまう方もまだまだ多いのが現実です。三つ目は私たちメンバーの高齢化です。

～今後の課題～

- 1 コミュニケーション
インド人の多くは日本語を話せないので、お互いの意見をスムーズに交換することが難しい。
- 2 外国人に対する苦手意識の払拭
住民の中には、外国人への偏見や苦手意識がある方も多い。
- 3 メンバーの高齢化
メンバーの平均年齢は、年々上がっていきます(T_T)(T_T)(T_T)

課題の解決に向けた取組方策

そういった課題への取組として、インド人コミュニティとのトラブル防止のため、連絡調整に蔵前警察署に協力してもらっています。もちろん、パトロールなどで集まった際には、代表者の方を通じて、町会の要望も伝え

てもらいます。外国人に対する苦手意識はコミュニケーション不足から生じるものです。地域住民が集まるお祭りなどのイベントに積極的に参加してもらい、地域住民との交流を深めてまいります。また、私たち防犯パトロール隊は町会の防犯部により組織されていますが、町会の交通部、女性部、青少年部とも協力し、若い世代の人材獲得を目指していきます。

来年は 2020 年、オリンピック、パラリンピックが東京で開催されます。今後、更にたくさんの外国人が日本を訪れることになるでしょう。私たちとインド人コミュニティとの活動は今始まったばかりですが、今後更に増えていく外国人の方々との関係づくりの参考になればと思っています。まだまだたくさんの課題はありますが、一番大事な事はコミュニケーションをとることだと思っています。これからも文化の違いを乗り越え、共に安全・安心な街を目指して頑張っていきたいと思っています。御清聴、どうもありがとうございました。

課題への取り組み

- 1 トラブル防止のため、連絡調整をする際は、蔵前警察署に協力してもらったり、日本語が話せる代表者の方を通じて町会の要望を伝えてもらったりしています。
- 2 祭り等のイベントに積極的に参加してもらい、地域住民との交流を深めていきます。
- 3 町会の交通部、女性部、青年部とも協力して、若い世代の人材獲得を目指します。

ご静聴ありがとうございました！

